

ひとくふう世界国債ファンド (為替ヘッジあり)

追加型投信／内外／債券

第2期 2018年3月5日決算

作成対象期間 (2017年3月4日～2018年3月5日)

第2期末 (2018年3月5日)	
基準価額	10,041円
純資産総額	259百万円
第2期	
騰落率	+2.8%
分配金	0円

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「ひとくふう世界国債ファンド(為替ヘッジあり)」は、このたび、第2期の決算を行いました。

当ファンドは、キャリーエンハンスト・グローバル債券マザーファンドへの投資を通じて、主に日本を含む世界の国債に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名で検索」にファンド名を入力*⇒該当のファンドを選択⇒「運用実績・レポート」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

※償還の場合は、「償還ファンド一覧」を選択

ホームページアドレス
<http://www.daiwasbi.co.jp/>



お問い合わせ先

受付窓口：(電話番号) 0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで(土、日、祝日除く。)

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

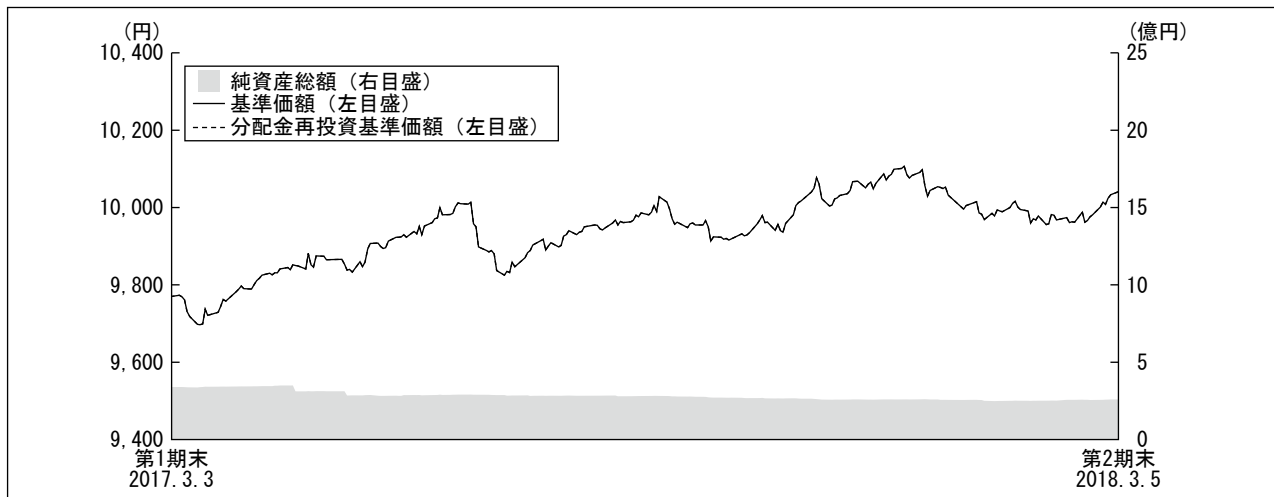


大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第2期首：9,770円

第2期末：10,041円（既払分配金 0円）

騰落率：+2.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、キャリーエンハンスト・グローバル債券マザーファンドへの投資を通じて、主に日本を含む世界の国債に投資を行いました。

（上昇要因）

イタリア国債、日本国債、フランス国債、米国債がプラス・リターンとなったことが上昇要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	当 期		項目の概要
	2017年3月4日～2018年3月5日		
	金額	比率	
信託報酬	27円	0.271%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,946円です。
（投信会社）	(12)	(0.119)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(12)	(0.119)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	2	0.023	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.011)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	29	0.295	

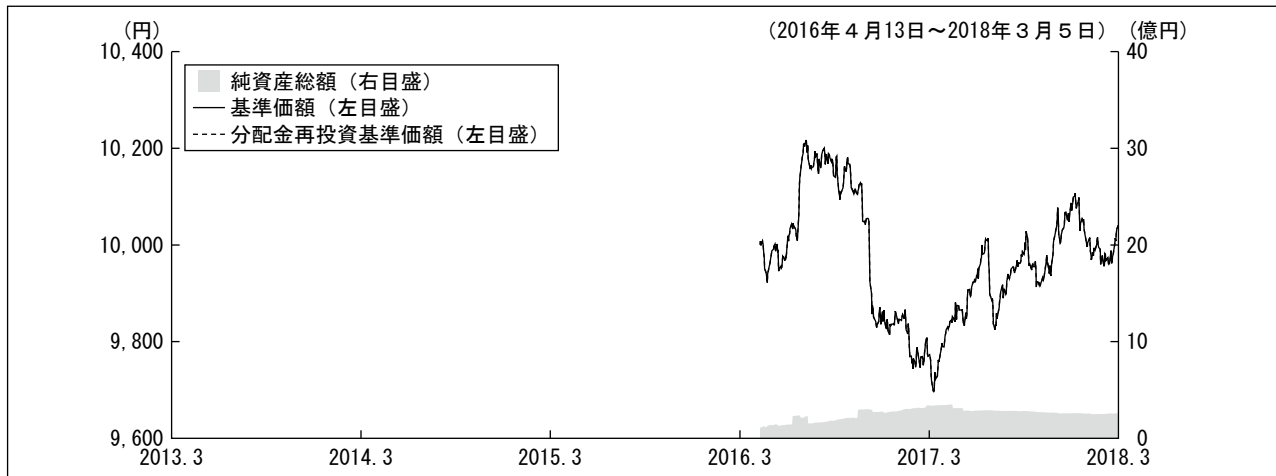
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日（2016年4月13日）より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年4月13日 設定日	2017年3月3日 決算日	2018年3月5日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,770	10,041
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△2.3	2.8
FTSE世界国債インデックス (円ヘッジ・円ベース) 騰落率 (%)	—	△2.2	0.3
純資産総額 (百万円)	109	339	259

*FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ・円ベース）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

●参考指数に関して

*FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

*海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

【投資環境】

当期の主要国債券利回りは、フランス、イタリア、スペイン、日本では低下したものの、米国、英国、ドイツでは上昇するなどまちまちな動きとなりました。期初は、フランス大統領選挙での極右政党候補への懸念や、米大統領のロシア疑惑を受けリスク回避ムードが高まり、フランスを除き主要国債券利回りは低下基調で始まりました。その後、フランス大統領選挙およびフランス議会選挙で極右勢力が伸び悩んだことで政治リスクが後退し、フランスの利回りも低下しました。2017年6月末のドラギECB（欧州中央銀行）総裁のタカ派的な発言をきっかけに、市場の注目が主要国の中央銀行の金融政策正常化に移るなか、利回りは反転上昇したものの、夏場にかけて米政権の政策実行力への不信、ハリケーンの影響、北朝鮮をはじめとする地政学リスクの再燃から再び債券利回りは低下基調となりました。2017年の年末以降は米税制改革への期待感からリスクオンとなったことで、利回りは上昇基調となりました。期末にかけても、米税制改革法の成立、ECBのQE（量的緩和）停止やFRB（米連邦準備制度理事会）の利上げが加速するリスクが意識され利回りは米国を中心に大きく上昇しました。

【ポートフォリオ】

■ひとくふう世界国債ファンド（為替ヘッジあり）

主要投資対象であるキャリーエンハンスド・グローバル債券マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は105.0%となりました。

また、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

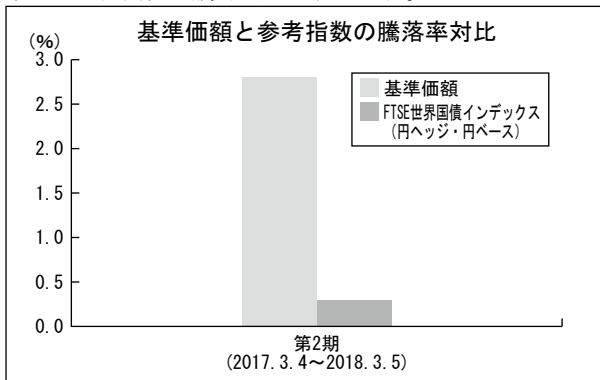
■キャリーエンハンスド・グローバル債券マザーファンド

当期の騰落率は、+3.1%となりました。

最適化モデルに基づき、リスク調整後のキャリー収益が魅力的な債券を組み入れました。月次で行うリバランスに加え、債券市場のボラティリティ（価格変動性）が上昇し、リスクが目標レンジを上振れた場面では、リスクをレンジ内に抑えるオペレーションを行いました。2017年6月下旬、7月上旬の金利上昇局面でリスク量が閾値を上回ったため、債券のウェイトを均等に引き下げ、キャッシュ比率を引き上げました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。
 なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第2期	
	2017年3月4日 ～2018年3月5日	
当期分配金 (円)	0	
(対基準価額比率) (%)	0.00	
当期の収益 (円)	-	
当期の収益以外 (円)	-	
翌期繰越分配対象額 (円)	329	

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■ひとくふう世界国債ファンド（為替ヘッジあり）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に日本を含む世界の国債に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

■キャリーエンハンスト・グローバル債券マザーファンド

引き続き、最適化モデルに基づき、リスク調整後のキャリー収益が魅力的なセクターを選定し、投資していく方針です。また、市場のボラティリティが上昇する場面ではリスクを抑制するオペレーションを行い、ポートフォリオのリスクをコントロールすることでダウンサイド（下振れ）リスクを抑え、効率的なキャリー収益の確保を目指します。

お知らせ

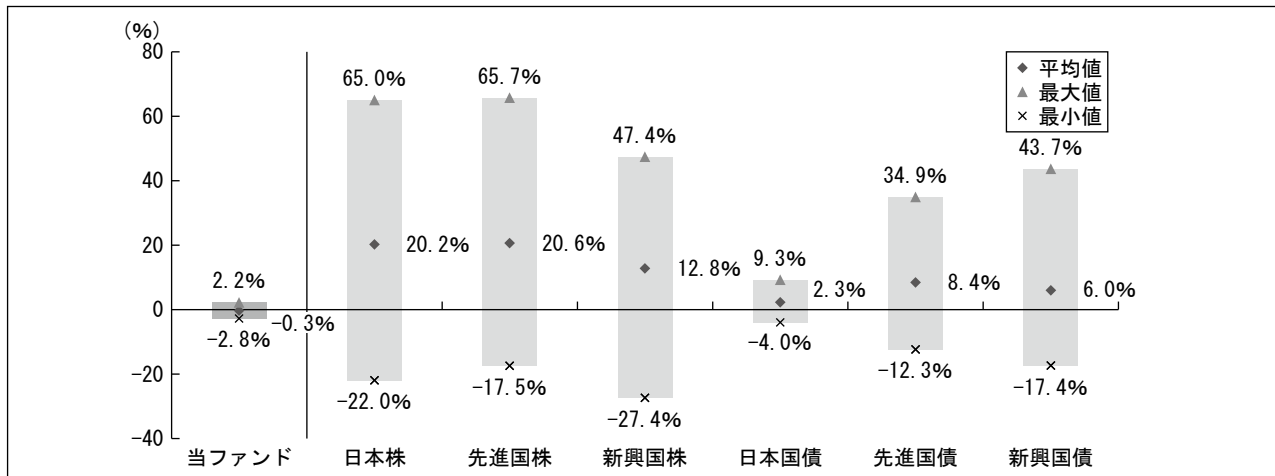
インデックスの名称変更を受け、信託約款中の記載箇所について所要の変更を行いました。（2018年2月21日付）

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に日本を含む世界の国債に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	キャリーエンハンスト・グローバル債券マザーファンド受益証券
	キャリーエンハンスト・グローバル債券マザーファンド	日本を含む世界のソブリン債券
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運用はファミリーファンド方式で行います。 ・投資対象の国は、原則としてFTSE世界国債インデックス採用国とします。 ・投資する債券の格付けは、原則として、取得時においてBBB格相当以上とします。 ・実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。 ・為替ヘッジ後の期待収益が魅力的な銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。 ・ポートフォリオの目標リスクを設定し、リスクを抑えた運用を目指します。 	
分配方針	<p>毎年3月3日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2017年4月～2018年2月
 代表的な資産クラス：2013年3月～2018年2月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

（注）上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

<<当該投資信託の組入資産の内容>>

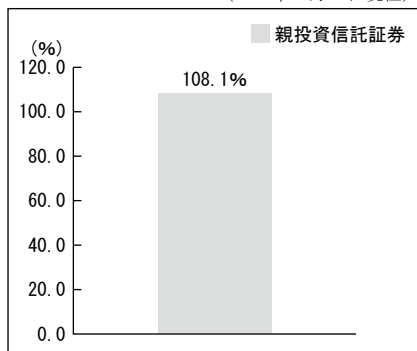
【組入ファンド】

	第2期末（2018年3月5日）
	組入比率
キャリーエンハンスト・グローバル債券マザーファンド	108.1%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

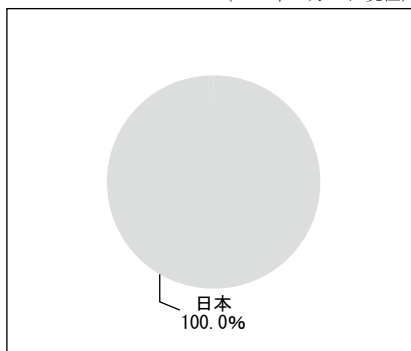
（2018年3月5日現在）



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

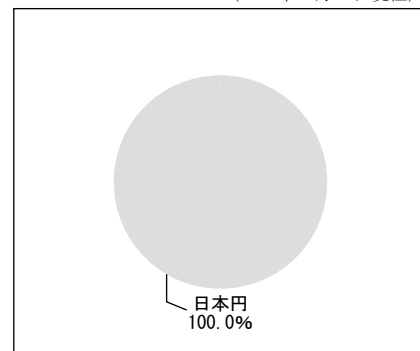
（2018年3月5日現在）



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

（2018年3月5日現在）



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

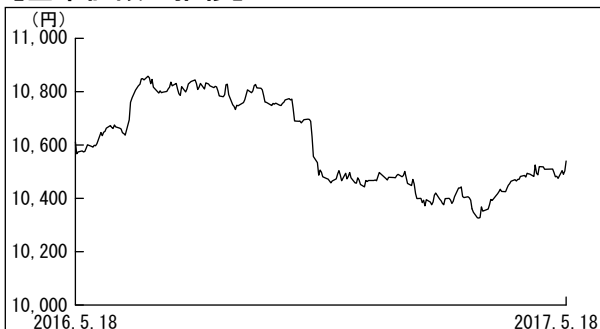
項目	当期末
	2018年3月5日
純資産総額	259,159,684円
受益権総口数	258,094,973口
1万口当り基準価額	10,041円

*当期中における追加設定元本額は97,001,670円、同解約元本額は186,082,777円です。

《組入ファンドの概要》

■キャリーエンハンスド・グローバル債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当りの費用明細】

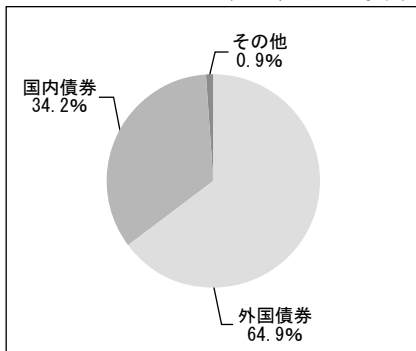
(2016年5月19日～2017年5月18日)

項目	金額
その他費用 (保管費用) (その他)	1円 (1) (0)
合計	1

*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。
 *期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 *円未満は四捨五入しています。

【資産別配分】

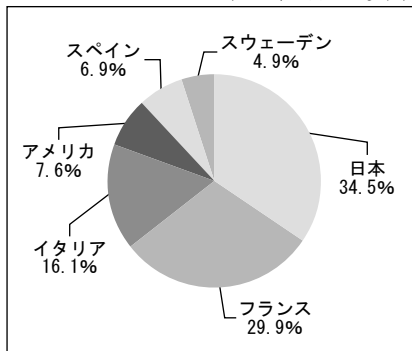
(2017年5月18日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

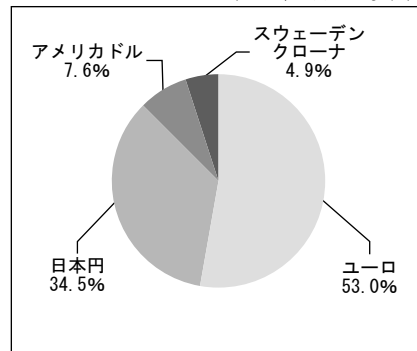
(2017年5月18日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2017年5月18日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2017年5月18日現在)

銘柄名	通貨名	比率
1 136 20年国債	日本円	29.8%
2 BUONI POLIENNALI DEL TES 3.75 09/01/24	ユーロ	16.0%
3 FRANCE OAT. 2.75 10/25/27	ユーロ	15.5%
4 FRANCE OAT. 2.25 05/25/24	ユーロ	8.4%
5 US TREASURY N/B 4.5 08/15/39	アメリカドル	7.5%
6 BONOS Y OBLIG DEL ESTADO 3.8 04/30/24	ユーロ	6.9%
7 FRANCE OAT. 3 04/25/22	ユーロ	5.8%
8 SWEDISH GOVERNMENT 2.5 05/12/25	スウェーデンクローナ	4.9%
9 126 20年国債	日本円	4.5%

(組入銘柄数 9銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments